

大妻タイムズ

OTSUMA TIMES

CONTENTS

交流協定……………	1	地域連携プロジェクト……………	6
WEBサイトリニューアル……………	2	地域貢献プロジェクト……………	7
大妻さくらフェスティバル……………	3	石川県穴水町の表敬訪問……………	7
夏季集中授業「地域文化理解I」……………	4	大妻古本募金……………	8
地域との交流……………	5		

TOPIC

交流協定

ソシエテミックニ、国際食文化交流協会との連携・協力協定を締結

大妻女子大学は、株式会社ソシエテミックニ、一般社団法人国際食文化交流協会と、2021年2月16日付けで連携・協力に関する協定を締結しました。株式会社ソシエテミックニ代表取締役社長・一般社団法人国際食文化交流協会理事三國清三氏、本学からは、伊藤正直学長、地域連携推進センター所長・井上美沙子副学長（締結当時）、家政学部長・市川博教授が出席しました。この協定締結により、大学教育活動および食文化活動の活性化と人材育成等に寄与することを目的とした連携・協力を行います。

ソシエテミックニはオテル・ドゥ・ミックニ（東京・四ッ谷）の経営をはじめ、日本のフランス料理界およびフランス産品の普及に貢献しており、国際食文化交流協会は、食を通じた国際交流の推進・他文化への相互理解を深めるための活動を行なっております。今後は、本学が実施する食文化活動教育に関する講義・講演等に協力するほか、食文化活動の現場での実質的学びの機会を提供します。

これに伴い、三國清三氏は2021年4月から非常勤講師として、本学の全学

共通科目「地域文化理解II」（2022年2月開講予定）を担当します。同授業は講義、実習およびフィールドワークで構成される集中授業です。

なお、三國氏はラグビーワールドカップ2019組織委員会顧問および、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の顧問を務めており、食の分野の代表として関与しています。



左から市川博教授、井上美沙子副学長、三國清三氏、伊藤正直学長

WEBサイトリニューアル

WEBサイトリニューアル

2021年4月1日(木)に大妻女子大学WEBサイトをリニューアルしました。より見やすく情報を探しやすいWEBサイトを目指し、掲載内容のさらなる充実をはかるとともに、スマートフォンやタブレットの表示にも対応しています。

●大妻女子大学WEBサイト
<https://www.otsuma.ac.jp/>



オンライン講座

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出する機会が少なくなっていることから、自宅でご覧いただけるオンライン講座を用意しました。ぜひお楽しみください。

「喫茶文化入門」

中国茶を中心とした喫茶文化を紹介する講座です。茶葉の種類、季節に合わせた茶葉の選び方などを学べます。

講師：趙 方 准教授



「ハランで器を作り、夏の花をアレンジ」

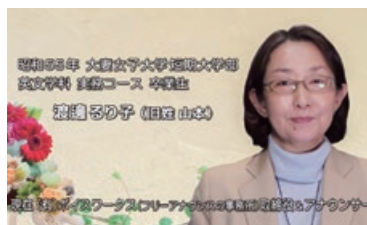
ハランという大きな葉を使用した、夏らしいフラワーアレンジメントの方法を紹介します。

講師：上垣内 淳子先生



「先輩から後輩へのリレーメッセージ」

本学で学んだ先輩から後輩の皆さんへのメッセージを動画で配信しています。大妻女子大学と社会で活躍する本学卒業生の魅力を感じてください。



大妻さくらフェスティバル

俳句大賞 受賞作品

大妻さくらフェスティバルのイベントの一つとして、俳句大賞を実施しました。2020年度は「春の植物」「家」をテーマに、全国各地の幅広い年齢層の皆さまから、1,372句の作品が寄せられました。たくさんのご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、入賞した作品を発表します。(敬称略)

理事長・学長賞

テーマ「春の植物」

全部門

菜の花の公園のはじ目立ってて
東京都江戸川区 田中 陽莉 10歳

暗闇に光輝き桜咲く
石川県金沢市 本橋 海南 16歳

菜の花に溺れてをりぬ古地蔵
埼玉県さいたま市 関とし子 75歳

テーマ「家」

全部門

家のまどあけるときれいなもみじあめ
東京都江戸川区 藤井 逞弘 9歳

引つ越しの居間春愁の写真立て
愛知県名古屋市 水野 結雅 13歳

百年の軒に燕の三家族
埼玉県戸田市 吉田 サタ子 86歳



優秀賞

テーマ「春の植物」

小学生以下の部

気のせいかさくらが一度笑ったよ
東京都江戸川区 御山 琉愛 10歳

紅梅はきらきらかがやくイヤリング
東京都江戸川区 前川 日和 9歳

一列に並び手つなくチューリップ
鹿児島県日置市 松下 奈央 9歳

中学・高校生の部

たんぽぽや路地裏に咲く黄一色
東京都練馬区 住岡 京政 13歳

妹と二人で取った野の蓬
東京都練馬区 武日 菜子 13歳

菜の花や歩んでゆくたびゆらゆらと
石川県金沢市 金谷 愛理 15歳

一般の部

沈丁の香をすり抜ける夜のあり
東京都練馬区 猪俣 ま悠 32歳

制服の折り目新し沈丁花
埼玉県春日部市 中野 弘樹 75歳

オンライン授業窓辺にスイートピー
神奈川県横浜市 蛭田 恒美 70歳

テーマ「家」

小学生以下の部

ねていたらほっぺにさくらまた一つ
東京都江戸川区 佐藤 琴奈 9歳

かすみでねわらのおうちがかくれたよ
東京都江戸川区 柴原 いろは 9歳

中学・高校生の部

卒業の朝両親と鍵かける
石川県金沢市 桶本 みつき 15歳

一年生小さな背中に彩りを
石川県金沢市 澤井 里緒 15歳

金風に茅葺きの家呼吸する
宮城県仙台市 横溝 麻志穂 16歳

一般の部

孫もはや女子大生に雛の家
千葉県柏市 渡会 克男 71歳

定位置のソファのくぼみ目借時
東京都調布市 大槻 さやか 48歳

俎板の音やはらかに驟雨止む
神奈川県川崎市 久保田 聡 55歳

表紙デザイン画 受賞作品

大妻さくらフェスティバルのイベントの一つとして、表紙デザイン画の募集をしました。たくさんのご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、入賞した作品を発表します。(敬称略)

表紙



大妻女子大学
短期大学部 1年
松本 七海

裏表紙



大妻多摩高等学校 1年
加藤 真凜



大妻嵐山中学校 2年
篠沢 雪乃



大妻嵐山高等学校 1年
伊藤 千尋



大妻嵐山高等学校 1年
金岡 きさら

夏季集中授業

2020年度夏季集中授業「地域文化理解I」を開催

2020年9月7日（月）～11日（金）の5日間、2020年度夏季集中授業「地域文化理解I」を千代田キャンパスG棟で開催しました。新型コロナウイルス感染防止にかかる対策を入念に講じ、包括交流協定を締結している京都女子大学からの受講生4名を含む30名が対面授業とフィールドワークを受講しました。

「地域文化理解I」は、東京という地域に焦点をあてて①陸の玄関である「東京駅」とそこで働く人々の実態、②空の玄関である「羽田空港」とそこで働く人々の実態、③メディア世界の中の日本および東京について、④観光とおもてなし等の視点から探求するホスピタ

リティ精神、を学ぶことを目的としています。座学授業と現地での実態見学（フィールドワーク）を行い理解を深めました。



講義内容

1日目

担当講師／玉井 和博氏（大妻女子大学非常勤講師）

- ・オリエンテーション
- ・観光立国への課題 など

2日目

担当講師／藤崎 斉氏（東京ステーションホテル総支配人）

- ・東京ステーションホテルの歴史と役割
- ・ホテルの業務と総支配人の役割
- ・東京ステーションホテルでのフィールドワーク

3日目

担当講師／日本航空スタッフ、JAL スカイ国際
パッセンジャーサービス担当スタッフ

- ・航空業界概論
- ・JAL スカイが目指すサービス



4日目

担当講師／羽田空港現場スタッフ

- ・羽田空港でのフィールドワーク（空港業務体験）

5日目

担当講師／清水 克彦氏
（文化放送報道
スポーツセンター部次長）

- ・新型コロナウイルスと観光業界
- ・世界の中の日本 など



受講者からは「サービスはトレーニングすれば身につけることができる確実なものであるが、ホスピタリティはマニュアル化できない個の感性・人間性によるものであることを学び深く納得した。」「案内して下さったホテルスタッフの方々の言葉遣いや立ち振る舞いが本当に美しく、このようなしぐさができるようになりたいと感じた。」などの感想が寄せられました。

新型コロナウイルスの影響を受け、大きな制約があ

る中での実施となりましたが、京都女子大学からも初の受講生を受け入れることができ、観光とおもてなしの視点からホスピタリティ精神を修得し、将来に向け決意を新たにする機会となりました。

京都女子大学の
受講生インタビューは
こちらからご覧いただけます。



地域との交流

秋の花植え活動を実施【千代田アダプト事業】

2020年11月5日(木)、千代田区と地元三番町町会、大妻女子大学、(株)プランナーワールド、子育て広場「あい・ぽーと麹町」などが連携・協力し、三番町町内の歩道に秋の花植えを行いました。新型コロナウイルス感染症に対する予防策をしっかりと講じたうえで実施しました。

花植え当日は、家政学部児童学科の学生がグループに分かれ、それぞれのグループが色の組み合わせや配置

を話し合いながら、2,350鉢を「番町学園通り」「大妻通り」に設けられた約90カ所の植樹柵(ます)に、地域の方々と協力しながら一緒に植えました。1時間ほどで90センチ×200センチの植樹柵が鮮やかな花でいっぱいになりました。なお、大妻中学・高等学校の生徒は、11月2日(月)の放課後に、校舎周辺の植樹柵に花を植えました。



ノースポール



パンジー



クリサンセマム・ムルチコレ



ミニハボタン



ビオラ

多摩コミュニティセンターでアダプト活動

毎月第3土曜日(10:00~11:30)に、「唐木田コミュニティセンター(からきだ菖蒲館)まちづくり部会」の方々が、地域の方と実施している「花いっぱい運動でつくる“絆”」活動に、多摩学友会と地域連携推進室も参加し連携を深めています。

通学で利用する小田急多摩線唐木田駅前広場フラワーポットを中心に、菖蒲館の広場の花を毎月植替えています。2020年度はコロナ禍で、学友会の参加はありませんでしたが、まちづくり部会の方々は感染予防をしっかりと、元気に毎月活動し、駅前広場をいつも花でいっぱいにしてくれました。



❀ アダプト活動とは ❀

市民と行政が協働で進める街の美化プログラムのことで、アダプト(Adopt)は「養子にする」を意味する英語です。公共の場所を養子にみ立て、市民がわが子のように愛情を持って世話(清掃美化)をし、行政がこれを支援する制度のことで。

多摩さくら坂のお花見イベント

大妻女子大学多摩キャンパスの通称「大妻」多摩さくら坂」のお花見イベントが、2019年3月30日(土)・31日(日)10:00~14:00、雨天決行で開催されました。同キャンパスの駐車場ゲートから中学高校棟まで続く、約1Kmの桜並木を地域の人たちに見てもらおうと、大学とほっとネットしょうぶ、多摩市社会福祉協議会の協力のもと企画・実施されました。

2020年、2021年は感染症予防対策で一般公開はできませんでしたが、多摩さくら

坂は、2021年も見事に桜色に染まりました。一般公開ができなかったのが、少しでもキャンパスの様子を知っていただくため、人間関係学部WEBサイトに記録をUPしています。

2022年は、十分な感染症対策・ガイドラインのもと、地域の方・教職員・多摩市社会福祉協議会とさらに連携し、開催に向け準備を進めていきます。

2021年のさくら坂の様子は
こちらからご覧いただけます。



地域連携プロジェクト

学生の主体性や自立心が身につく地域連携活動の一層の推進と発展を図ることを目的として、2013年度に「地域連携プロジェクト」を創設しました。「地域社会との連携を活性化するとともに、学生の教育に資する活動」をテーマに、2020年度は5件のプロジェクトが採択され、その内4件の活動を紹介します。

三番町アダプトフラワーロードの会との地域美化活動

代表者 家政学部 児童学科 教授 石井 雅幸

前期は活動を自粛し、10月初旬から準備を開始。11月5日(木)に大妻女子大学児童学科児童教育専攻の1、2年生が中心となり花植え活動を行いました。11月以降は1週間から10日に一度の頻度で、散水や草取りなどの

お世話をを行い、並行して、新たに加わった街路樹マスを枯れてしまった箇所新たにパンジーを植える活動も行いました。



「防災と言わない防災」の実現に向けた私たちのチャレンジ

代表者 人間関係学部 社会・臨床心理学専攻 准教授 堀 洋元

オンラインゼミの中で、防災に役立つアイデアの体験学習として、防災食(パスタ、アルファ米、おかず等)と各自の自宅にある食料備蓄を利用したアレンジレシピを考案しました。夏休みはゼミでの成果の取りまとめとして

「防災食とそのレビュー」、「防災グッズの紹介」などをテーマに動画を作成し、地域住民向けの防災講座や多摩市ONLINE文化祭などで発表、配信を行いました。



からきだ匠(たくみ)カフェ～地域がつながる場所～

代表者 人間関係学部 社会・臨床心理学専攻 准教授 八城 薫

本プロジェクトでは2017年から「様々な属性、世代の方々と繋がるような居場所づくりをすることで、いざという時に助け合えるような地域をつくること」をコンセプトに活動してきました。2020年度は4月から9月までは開催を

中止。10月よりZoomと対面のハイブリッドで開催しました。オンライン会議の経験がない年配の方に、学生がZoomの使い方を教えるという新たな交流も生まれました。



未来を育む食と健康プロジェクト～SDGsにつなげる食育媒体の開発と実践～

代表者 短期大学部 家政科 教授 堀口 美恵子

栄養士の立場からSDGs達成につながる食育に取り組み、人々の食・健康・環境に対する意識の向上を通して心身の健康づくりに貢献することを目的とした活動を行いました。食育媒体としては音声教材、パネ

ルシアター、動画等を作成し、子ども達に食の大切さを楽しく伝えるための「食育体験交流会」を実施しました。また、「地球に優しいエコクッキングレシピコンテスト」を行い、身近な食物からSDGs達成につながる活動も実践できました。これらの活動については、千代田区地域コミュニティ醸成支援事業の一環である「ちよだコミュニティラボライブ!2021」で紹介しました。



地域貢献プロジェクト

広く地域の皆さまへ大妻女子大学の教育と研究成果を還元し、皆さまの多様な学習ニーズに応えるとともに地域社会の教育、学術、文化の発展に貢献する活動の推進を図ることを目的として、2014年度からスタートしました。2020年度は3件のプロジェクトが採択されました。

若い男性女性および学生のプレコンセプションケアの支援

家政学部 食物学科 教授 川口 美喜子

妊娠を希望する、または将来健全な妊娠出産を迎えるためにはプレコンセプションケアの教育と啓発が重要です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、講義・セミナー開催は断

念。計画を変更し、食事面からのプレコンセプションケアの啓発を目的とした、妊娠出産を希望する方が、積極的に摂取したい食事について掲載したパンフレットを作成、配布しました。

ハーブ植栽と調理体験による地域教育プログラム

短期大学部 家政科 専任講師 田口 裕基

このプログラムでは当初、ハーブを自分の手で植栽し、その収穫物を調理する体験イベントを行う計画でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響

により、オンラインプログラムの作成・配信に活動を変更。自宅で気軽に楽しめるハーブティーやクラフト体験の動画などを作成、配信しました。

中野地域の帰国小学生の英語力保持へのサポート

英語教育研究所 教授 服部 孝彦

大妻中野中学・高等学校では、小学校で帰国した地域の児童たちを中心に、児童英語教育サポート講座(帰国小学生英語講座)を実施してきました。今回、組織的、計画的なプロジェクトの形をとり、英語教育に関心のあ

る地域の住民に公開する児童英語講座を実施し、より一層、地域の教育ニーズに対応し、大妻女子大学の研究リソースを地域貢献に活かすことができました。

石川県穴水町の表敬訪問

石川県穴水町の表敬訪問を受けました

2020年10月28日(水)、石川県穴水町教育委員会から樋爪友一事務局長と新谷真以局員、同町観光交流課から中瀬寿人課長、えんなか合同会社代表の齋藤雅代さん(本学卒業生)の表敬訪問を受けました。本学からは、伊藤正直学長、井上美沙子地域連携推進センター所長兼副学長、細谷夏実社会情報学部環境情報学専攻教授のほか、地域連携推進センター事務部3名が出席しました。

2015年度から、細谷夏実教授ゼミで、穴水町における里海資源の有効活用についての取り組みを学び、継続的に交流を深めていることが契機となり、本学と石川県穴水

町は2018年7月19日付で包括連携協定を締結しました。

細谷夏実教授ゼミの活動は「地域連携プロジェクト」にも採択され、①うみいくカードの作成 ②穴水町雪中ジャンボかきまつりでの本学ブース出展 ③里海スクール などさまざまな活動を行ってきました。

協定締結から3年目を迎え、この間の連携・協定内容に対する評価と振り返りについて総括がなされ、その後、向こう3年間の活動計画が検討されるなど活発な意見交換が行われました。



大妻古本募金

みなさまのお手元にある不要になった書籍類（書籍・DVD・CD等）の売却額が全額大妻学院への寄付金となる仕組みです。いただいた寄付金は、大妻学院の学生・生徒の学習、教育・研究を支援するために役立てられます。

本を寄付する流れ



STEP 1

書籍をダンボール・紙袋に詰めます。

- ※古本は5冊から、送料無料で受け付けます。一回の送付につき、段ボール箱3箱までとなります。
- ※裏表紙などにISBNコードがついている書籍、背表紙などに規格番号のついたDVDやCD、ゲームなどが買い取り対象となります。
- ※2010年以前出版の本は以下の「おためし査定」でゼロ円でないことをご確認ください。(右のQRコードからもアクセス可能です。)

<https://www.valuebooks.jp/estimate/guide>



STEP 2

申し込む。(申込はWEBからのみとなります。)

- 1 チャリボンWEBサイトの大妻学院にアクセス
(右記QRコードからもアクセス可能です。)
- 2 ページ最下部の「本で寄付する」をクリック
- 3 お申し込みフォームに必要事項を入力し送信。無事、送信できたらお申し込み完了です。

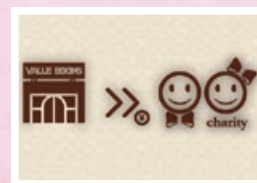
<https://www.charibon.jp/partner/otsuma-u/>



STEP 3

買取相当額が大妻学院に寄付されます。

- 皆様からのご寄付が
学生・生徒の学習、教育・研究支援につながります。
- ※買取価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。



株式会社バリューブックス ☎0120-826-295

〔古本の集荷・仕分け・査定はバリューブックスが行います。取り扱い古本の内容などは、こちらにお問い合わせください。〕

〒386-0041 長野県上田市秋和 537 E-mail: info@charibon.jp URL: <http://www.valuebooks.jp/>
古物商免許: 長野県公安委員会第481100800018号